

第3章：モデル授業案 8 安心を支える制度とは？

ねらい

働いて生きていく上で直面するであろう、不安や困り事の助けとなる労働法や制度があることを理解させる

授業の展開

※時間はあくまで目安です

時間(所要)	内容	留意点・備考
0:00 (5分) 導入とテーマの提示	○授業者から生徒に問いかけ ・「就職、進学以外で何か人生で不安はあるかな？」 →生徒の意見を聞く ・「この授業では、今後働いていく上での不安やいざれ起こることに応じてどのように対応すればよいか、について学びます」	必要があれば生徒をグループに分けておく
0:05 (5分) 既習事項の確認等	○生徒に、職業を持つ人として生きる「青年期」「成人・壮年期」の課題を確認させる ○授業者から生徒に問いかけ ・職業を持つ人として生きる「青年期」「成人・壮年期」の学習を確認 ・その上で、授業者から生徒に、この授業では、今後のライフイベントや、不安、困る事にどのように対応するかについて学ぶ、ということを簡単に説明する	◎ワークシートの配布 ※必要に応じて教科書や資料集も用いる
0:10 (15分) 資料による学習と話し合い(ライフイベントと働く上での不安や困る事)	○まず、働く楽しみや喜びについて少し生徒に考えさせ、クラスで共有する ※あまり出てこなければ授業者が補足する ○生徒に調査結果等の資料を読ませる ・社会人になった際の様々な不安や悩みを知る ※データから働く上でのリスクをイメージする ○簡単に隣同士ペア又は4人ぐらいで話し合う	
0:25 (15分) ワーク	○ライフイベント、働いて生活していく上での不安や困る事の助けとなる制度があることを知る ※右のA、Bいずれかを実施する ◆パターンA)個人ワーク&全体共有 ・ワークシートの左辺にライフイベントや不安等が、右辺に関連する法律や制度が並んでいるシートで、左右の対応する事項を線で結ぶ ◆パターンB)グループワーク ・ワークシートの左辺にライフイベントや不安等を書き込む ・右辺に『知って役立つ労働法』から助けになりそうな法律や制度を探し、書き込む ※時間があれば、労働基準監督官と労働基準監督署についての動画を見せてもよい	A)グループに一部、『知って役立つ労働法』の関係しそうな部分のコピーを用意する B)ワークシートのみ用いる ※動画については詳しくはP6参照のこと
0:40 (10分) まとめと振り返り	○クラス全体でワークの結果を共有 ○生徒に授業で学んだことの整理と感想をまとめさせる	各自記述して提出

※次ページ()の空欄に入るのは、先頭から

「ライフイベント」、「不安・困る事」、「労働法と制度」、「経済的自立」、「自己実現」

ワークシート

学習のねらい

- ◆社会人になった後の()や、働いて生きていく上での()について知る
- ◆ライフイベントや困る事の助けとなる()があることを知る

① 職業を持つ人として生きる「青年期」「成人・壮年期」の課題

「青年期」	「成人・壮年期」
<ul style="list-style-type: none"> ・(), アルバイト経験、就職する ・職業を通して()をはかる 	<ul style="list-style-type: none"> ・職業上の責任の高まり、知識・技術の向上 ・職場環境の向上への参画

② これから訪れるであろうライフイベントや、働いて生活していく上での不安、困る事は？

働くことに影響を及ぼす不安項目をあげてみよう。
(例)

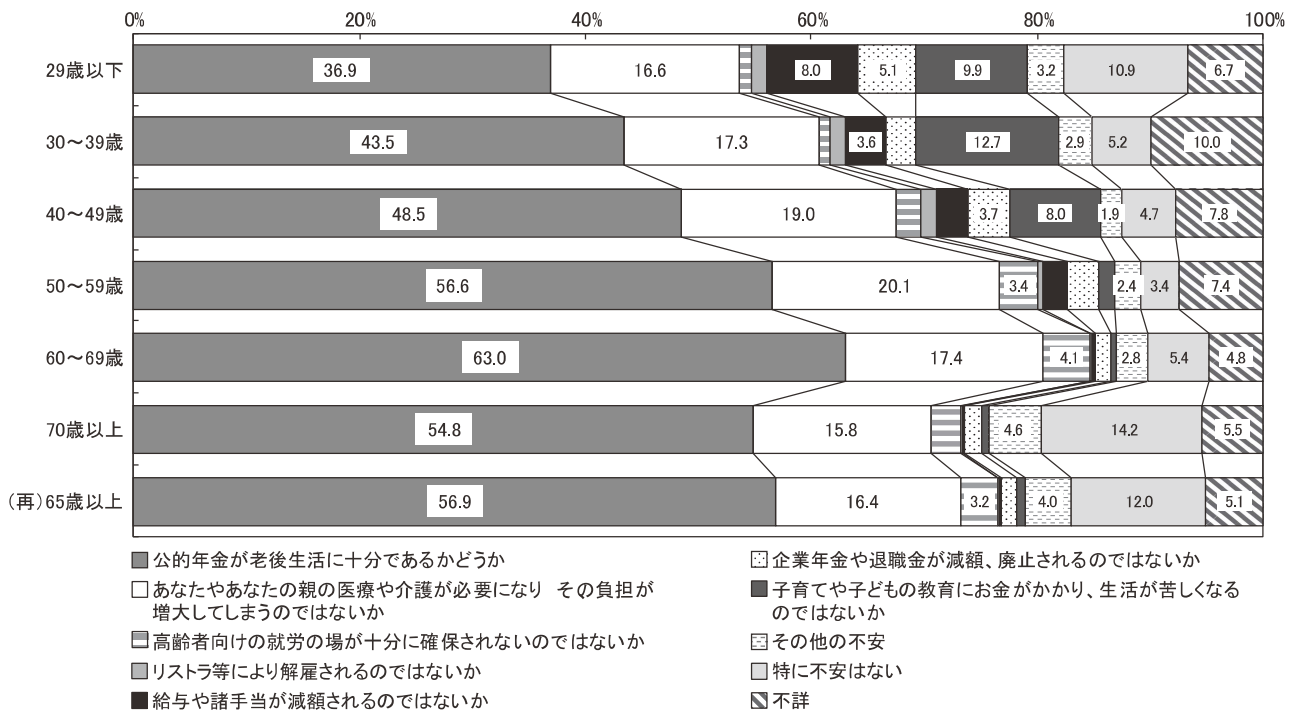
- ・自分が会社を「クビ」になる
- ・家族が、...

「働くことに関する不安」

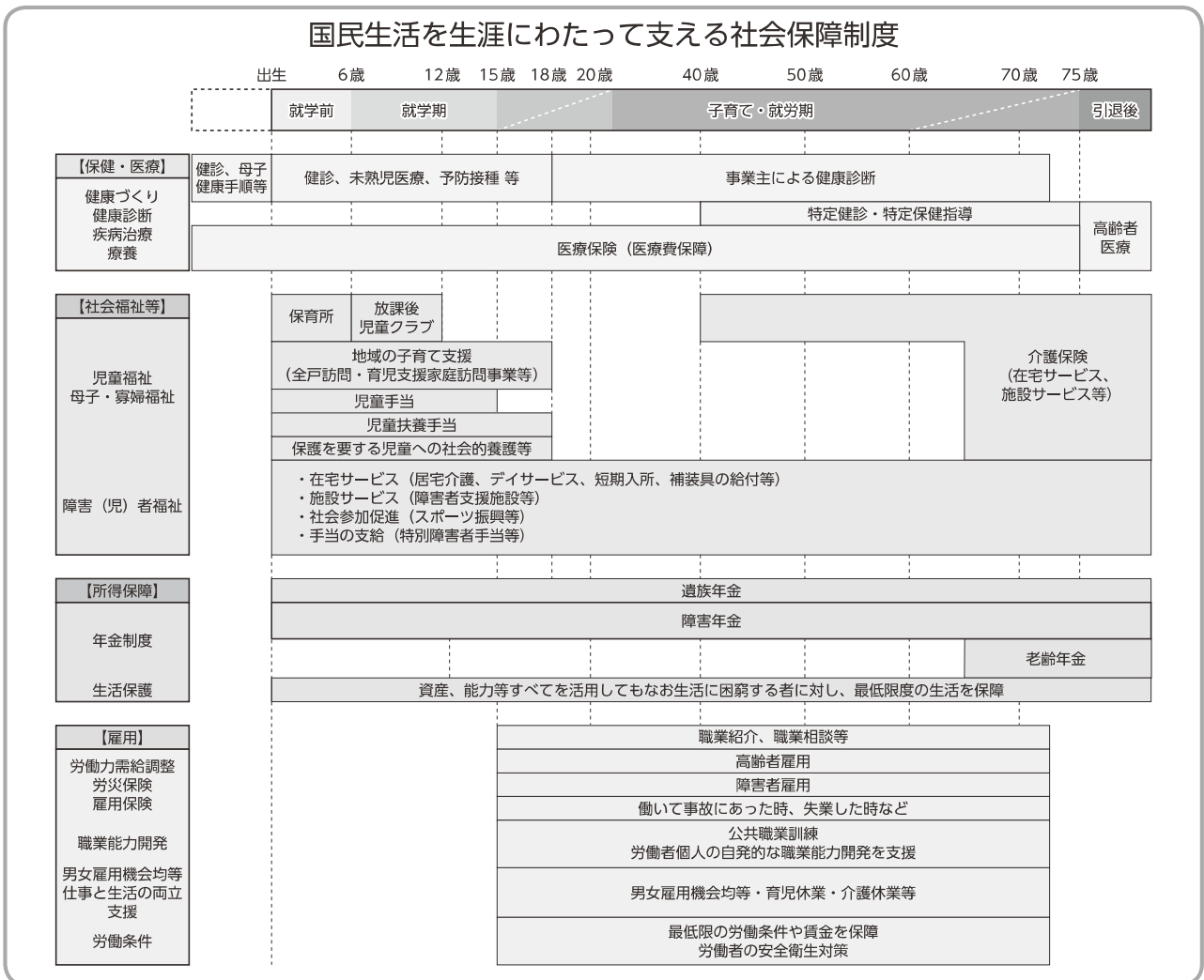
「子供・若者の意識に関する調査」(平成29年度内閣府)

(n=10,000人)					(%)	
	とても不安	どちらかといえば不安	あまり不安ではない	まったく不安ではない	不安(計)	不安ではない(計)
きちんと仕事ができるか	30.8	42.6	20.2	6.3	73.4	26.5
勤務先での人間関係がうまくいくか	32.0	39.4	22.2	6.4	71.4	28.6
勤務先の将来はどうか (会社が倒産したりしないかなど)	20.5	37.7	30.5	11.4	58.2	41.9
何歳まで働けるのか	22.2	40.2	28.1	9.5	62.4	37.6
老後の年金はどうか	39.1	36.3	18.1	6.6	75.4	24.7
解雇されないか	23.4	35.0	29.3	12.4	58.4	41.7
十分な収入が得られるか	34.7	41.9	18.1	5.4	76.6	23.5
転職はあるか	19.7	34.6	29.1	16.5	54.3	45.6
社会の景気動向はどうか	24.4	44.2	23.4	8.0	68.6	31.4
仕事と家庭生活の両立はどうか	27.8	44.4	21.2	6.6	72.2	27.8
健康・体力面はどうか	29.0	40.8	23.0	7.2	69.8	30.2
そもそも就職できるのか・仕事を続けられるのか	32.2	36.4	21.5	9.9	68.6	31.4

「将来への不安」(2019年社会保障に関する意識調査報告書) 年齢階級別にみた将来どのようなことを最も不安に感じているか



「人の一生から見た社会保障制度」(『平成29年度版厚生労働白書』より)



③ 働いて生活していく上での「不安や困る事」を防いだり助けたりする労働法と制度があることを知っておこう

⇒「・」についてそれぞれ対応するものを線で結ぶ

<p><働く上での「不安や困る事」></p> <ul style="list-style-type: none"> 働く先の将来 (倒産したりしないか) ● 突然リストラされないか (勤め先をいきなり「クビ」にならないか) ● 仕事と家庭生活の両立 (出産・子育てなど) ● 仕事と親の介護の両立 ● 自分の健康 (仕事でケガや病気になったら) ● 給料のカットや未払い (給料がまともにもらえない) ● 自分は就職できるか ● 	<p><労働に関連する法律と制度></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 育児休業 ● 労働基準法 ● 労災保険 ● 雇用保険 ● ハローワーク ● 解雇予告(手当) ● 介護休業
---	---

④ 働き生活していく上での「不安や困る事」を助ける労働法と制度を調べよう

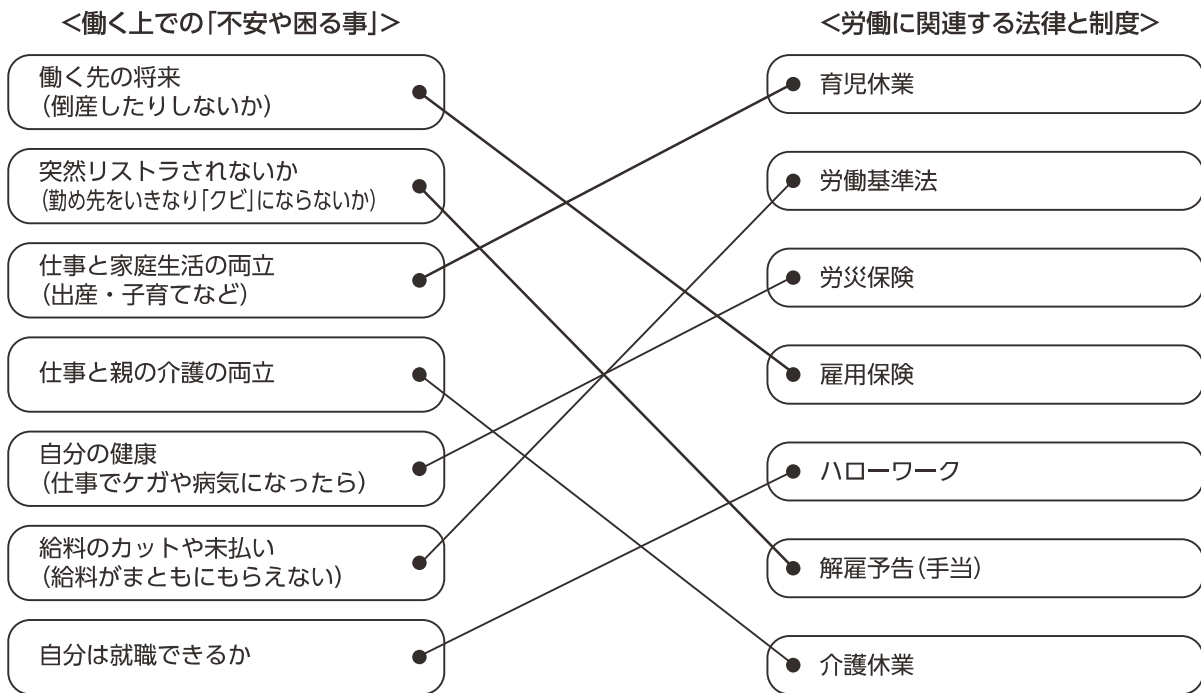
- ①左の空欄に資料から読み取った「不安や困る事」を書き出す
- ②それらの「不安や困る事」に対応すると考えられる法律と制度をテキスト『知って役立つ労働法』や『まんが知って役立つ労働法Q&A』で調べ、右の空欄に書き込む

◆(例) 会社が倒産して失業してしまう	⇒雇用保険と失業給付
◆	
◆	
◆	
◆	
◆	
◆	
◆	
◆	
◆	
◆	

ワークシートの解答例

③ 働いて生活していく上での「不安や困る事」を防いだり助けたりする労働法と制度があることを知っておこう

⇒「・」についてそれぞれ対応するものを線で結ぶ



④ 働き生活していく上での「不安や困る事」を助ける労働法と制度を調べよう

①左の空欄に資料から読み取った「不安や困る事」を書き出す

②それらの「不安や困る事」に対応すると考えられる法律と制度をテキスト『知って役立つ労働法』や『まんが知って役立つ労働法Q&A』で調べ、右の空欄に書き込む

◆(例) 会社が倒産して失業してしまう	⇒雇用保険と失業給付
◆仕事と子育てが両立できるのか	⇒育児・介護休業法と育児休業
◆仕事と親の介護が両立できるのか	⇒育児・介護休業法と介護休業
◆仕事でケガや病気になったら	⇒労災保険法
◆突然リストラされないか	⇒労働基準法と解雇予告

確かめよう!
労働条件。



「アルバイトの労働条件を確かめよう!」
キャラクター「たしかめたん」